

「豊橋百儂人」オーナー収穫祭

おいしいミカン鈴なり



ミカンを収穫する家族＝豊橋市中原町で

特色ある農業に取り組んでいる農家でつくる「豊橋百儂人」(河合浩樹代表)は23日、河合代表が所有する豊橋市中原町のミカン畑で収穫祭を開き、木のオーナーになった家族が、オレンジ色に実ったミカンを次々とハサミで切り取った。

豊橋の農業を知って

もらい、もり立てでもらおうと始まった今年で7年目のオーナー制度。

今年、豊橋を中心に名古屋、浜松などから61家族が登録した。この日は36家族が収穫。多くの木で60年以上の実がなっており、次々と収穫した。残りの家族は27日に行う。

半田市から祖母と一緒に訪れた寺田愛梨さん(10)は、「1本の木にたくさんの実がなっていて驚きました。さっそく食べたら、自然な甘さでおいしかった」と話していた。

(竹下貴信)